

平成28年11月2日

## 研修報告書

松戸市議会議員

大塚 健児

研修:長岡市機能の集積による中心市街地の再生について

主催:新潟県長岡市

日時:平成28年11月2日(水) 13時~15時

場所:長岡市議会

### 【研修報告】



長岡市も人口減少問題に直面しています。

そこで、長岡版コンパクトシティを展開していく必要があるとのことで、中心市街地地区都市再生整備計画事業に取り組んだようです。



街中の交流人口を増やしたいとのことで、わざわざ市役所機能を分散して、昼間でも職員が歩行をするという環境づくり。また、市役所内に食堂を設けず、昼食はできるだけ外に出ることを推進しているとのことでした。

●「アオーレ長岡」のオープン



建築家隈健吾さんのデザインによる奇抜な市庁舎。庁内には、プロバスケットチームアルビレックス新潟が本拠地となるアリーナを設備。  
バスケットボールだけでなく、フィギュアスケートも行ったようです。

また、駅から降りるとアルビレックス新潟応援一色。



長岡市のシティプロモーションとして最大限の活用をしていることがわかりました。

しかし、郊外を歩いてみると残念ながらシャッター通りになってしまいます。  
市全体を盛り上げることが最終目標ではありますが、問題は手段です。  
長岡市のように、まずは中心市街地から盛り上げる、つまり集約型都市構造を確立することで、  
市が底上げされるという国の方針に従うことは大切であると感じました。

さて、電線のない中心市街地も魅力的です。



地方創生が喫緊の課題であることはどの市町村も変わらないことではありますが、その中でどうやって魅力ある街づくりを目指していくのか。

今回の長岡市の取組は、一つのプロバスケットボールチームに焦点を絞り、シティプロモーションを行っています。加えて、財源の無駄遣いをせず、あくまでも中心市街地に財源を投入するという手法をとっています。

松戸市も見習う点が多々あると思います。どこにでも財源を投入するのではなく、あくまでも中心市街地を決め、そこには積極的に財源投資を行っていくべきだと思います。

大変勉強になった視察でした。

以上